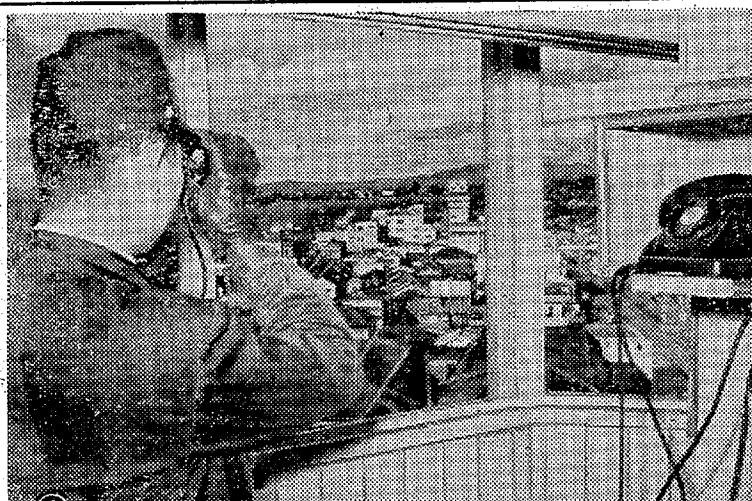
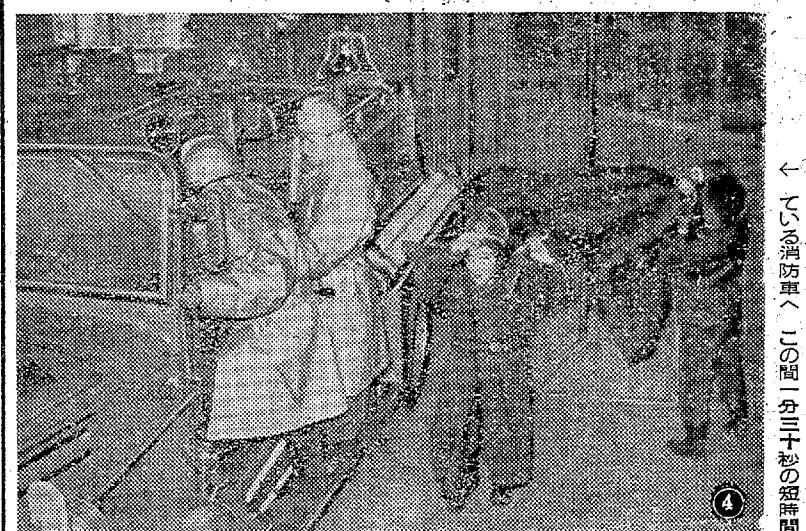


頭部から119番からの電話は指令室に直通。ただちに指令が飛ぶ。問い合わせはかならず2730番へ。



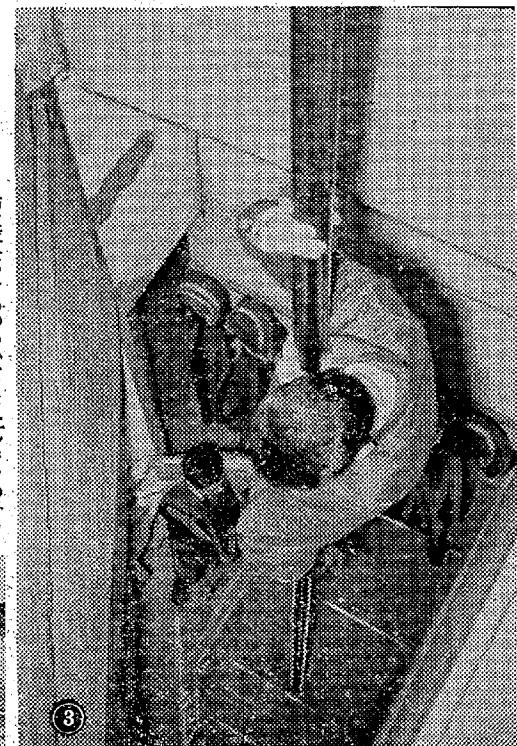
監視から不審火を監視する警員。ふだん煙の出ない所で燃す場合など、あらかじめ避難を知らせれば誤認も防止できるわけ。



消防衣を着けるもかけ足。H・J・Jの掛つてある消防車へ。この間一歩三十秒の短時間。



平市消防大隊が行なった避難訓練。千四百三十九人の児童が二分半で安全地帯へ。



火災非常ベルが鳴ると、二階の警員は特設のハシラをすべて踏み下へ。寸秒を争うからだ。



サイレンを鳴らして現場へ。現場までの最短距離は、ふだんから研究すみである。



## マチを火災から守る

### 大切な名人の火の元注意

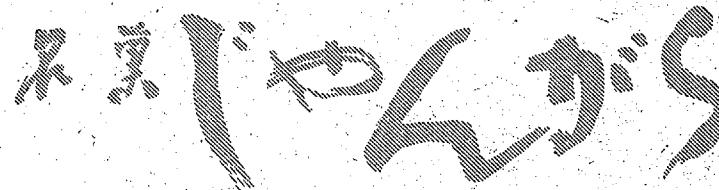
○二十六日「丸ほん」の場  
金縛りの緊張の中に堪えて、  
としの秋の火災予防運動は二日  
で終わつたが、これからが本格  
的火災シーズンに入る。消防  
消防団では手をゆるめること  
なく「マチを火災から守る」  
運動万全を期している。

○平消防署では警員四十人が  
日夜間断なく勤務、留校による  
火災発見、タンク・ハシゴ・普  
通車三百台の手入れ、一秒を争う  
出動訓練、火災予防の基本調  
査の指導など、予防火消火の面  
面にわたって緊張の毎日をおく  
ている。警報からまたは一  
九番通報)火災を発見すると  
司令室に通報、署内「非常ベル  
」が鳴り、スピーカーが火災の規  
模、場所に応じて適切な出動指  
令を伝える。発見から出動まで  
一分二十秒という素早さだ。  
一秒でも早く現地に着くことが  
消防署として、延焼を防ぐこ  
とができるので、毎日の訓練は一  
秒単位に繰り返されるわけだ。ま  
た消防団はタンク車など十一台  
のポンプを持ち、各区十二分  
の組織からなら、市内百四十  
人、新市内八百五十九人計千  
人が配備され能力を出動態勢を  
とおさえる。

○「火の始末」人に頼むな任  
せるさ」のストーリングを掲げ、  
期間中はペレート、看板掲示な  
ど市民に呼びかけたり、無防  
備感にあるといわれる学校に  
対しては、火防対策、避難訓練  
を要請により実施、積極的に協  
力して大きな成果を挙げた。何  
より大切なのは臣民の心掛け。  
昨年火災件数四十六、約五千二  
百万、本年度十一月十六日現在  
で三十五件、約三千六百万の損  
害を確認し、火の元に注意し  
てた正しい正月をめがねたいもの。

第一回。ます明るい職場の建  
設が第二である。

★ふるさとは遠きにありて思うもの…ふるさとの味★



★特製箱詰★全国各地へ発送のご用命承ります★

みよしのクリスマス  
ケーキ 予約受付中

毎度お引き立てありがとうございます。  
平郵便局のお話によりますとことしの年末は  
特に小包郵便が大へん混雑し12月15日までの  
早期差し出しを希望されております。  
恒例の年末ご贈答用発送のご用命はお早目に  
ご下命下さいますようお願い申し上げます。

じゃんがら本舗



本店電5036/銀座店電5037/湯本店電2344





